

令和 6年度予算見積調書(12月補正予算 (第3号)) (債務負担行為)

課室名 財務課
 担当者 財産管理担当、施設整備担当

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
	県立学校体育館整備費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校体育館整備費			
事業期間	令和 6年度～ 令和 7年度	根拠法令	なし			針路 分野施策	05 0504	未来を創る子供たちの育成 質の高い学校教育の推進	SDGsゴール	4, 13	
									SDGsターゲット	4-5, 4-a, 13-1	
1	事業概要 令和7年度当初予算に計上する予定の県立学校体育館整備費を前倒して年度内に発注し、早期の設計着手により、令和7年度末までに防災拠点校の体育館に空調設備を設置する。 期間：令和7年度 債務負担行為限度額：55,390千円			5 事業説明 (1) 事業内容 防災拠点校体育館空調整備設計 10校 限度額 55,390千円 (2) 事業計画 防災拠点校36校に体育館空調設置工事を実施する。 令和5年度 : 防災拠点校体育館空調整備設計 7校 令和6年度 : 防災拠点校体育館空調整備設計 7校、工事 7校 令和6年度(債務負担行為) : 防災拠点校体育館空調整備設計 10校 令和7年度(予定) : 防災拠点校体育館空調整備設計 12校、工事17校 令和8年度(予定) : 防災拠点校体育館空調整備工事 12校 (3) 事業効果 大規模災害時の長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境の確保 【活動指標(アウトプット)】 防災拠点校36校の体育館への空調設備の整備設計・工事の実施 【成果指標(アウトカム)】 防災拠点校36校について、大規模災害時の長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境となる。また、通常の学校教育活動の際にも活用可能とすることで、熱中症等の危険性がない教育環境を提供する。							
2	事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3	地方財政措置の状況 緊急防災・減災事業債 充当率100% 交付税措置70%										
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
補正要求額・審査額		県 債					一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額	
決 要 現	限度額	55,390	55,000				390	55,390			
	限度額	55,390	55,000				390	55,390	うち一財	うち一財	
		0	0				0				

【審査の考え方】
 大規模災害発生時の長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、防災拠点校の体育館への空調設備の設置に係る設計について、早期に着手する必要性を認めた。